

令和元年5月10日
国土交通省中部地方整備局
名四国道事務所

— 記者発表資料 —



ひらとおおはし
国道153号 豊田北バイパス 平戸大橋が
令和元年6月8日（土）に開通

- ・開通式典等の詳細は、別途お知らせします。

<開通による主なストック効果*>

※ストック効果：整備された社会資本が機能し継続的に発揮される、生産性向上等の効果

○移動時間の短縮

- ・平成記念橋北交差点から豊田勘八ICの所要時間が約6分短縮
- ・豊田市街地から豊田勘八ICへのアクセス性が向上

○豊田市で開催されるイベント等の観戦客輸送に貢献

- ・イベント開催時のシャトルバス運行経路の1つと想定され、観戦客の円滑な輸送に貢献

記者発表クラブ

愛知県政記者クラブ、豊田市政記者クラブ、豊田市政記者東クラブ

問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 名四国道事務所 TEL：052-823-7911（代表）
副所長 たなか しんじ 田中 慎次 計画課長 やぐち けんじ 矢口 謙史

ストック効果①

移動時間の短縮

- 平戸橋西交差点は、朝夕の通勤時間帯に渋滞が著しく発生している。
- 豊田北バイパス(平戸大橋)開通により、(都)平戸橋土橋線と併せた利用をすることで、平成記念橋北交差点から豊田勘八ICの所要時間が約6分短縮され、豊田市街地から豊田勘八ICへのアクセス性が向上。

豊田北バイパス (平戸大橋) 開通による効果



※開通前 平成27年度全国道路・街路交通情勢調査(混雑時旅行速度)より算出
開通後 国道153号:平成27年度全国道路・街路交通情勢調査(混雑時旅行速度)より算出
(都)平戸橋土橋線:30km/hに設定して算出

■平戸大橋周辺の状況



■平戸橋の渋滞状況



